

大正PEOPLEインタビュー vol.5

谷川署長に敬礼!

谷川亜華葉さんが、
大正消防署の一日消防署長に就任

令和3年11月7日(日)、大正区出身のオリンピック選手・谷川亜華葉さんが大正消防署の一日消防署長に就任し、訓練などの指揮や、消火器による消火活動などを体験されました。当日、谷川さんに、消防署長を体験した感想や大正区への想い、今後の夢などについてお聞きしました。



たにがわ あげは
谷川 亜華葉さん(イトマン所属)
2003年6月15日生まれ、大正区出身。三軒家東小学校、大正東中学校卒業。4才で水泳を始め、専門種目は個人メドレー。第97回競泳日本選手権の女子400m個人メドレーで自己ベストの4分37秒90をマーク、2020年東京オリンピック競泳日本代表入りを果たす。オリンピック後に開催された高校総体女子400m個人メドレーでは2連覇を達成。

次の目標はパリ五輪!もっと強くなった私を見てもらえるように、頑張りたい。

地元・大正区で一日消防署長を体験して、いかがでしたか

ドラマなどでしか見たことがなかったのですが、実際に目の前で救助や消火の訓練を見て、命を救うことへの正義感がすごく伝わってきかっかいなと思いました。男性の職業というイメージでしたが女性隊員の方も活躍されていて、たくさん努力をされたんだろうなと感じました。

印象に残っている訓練などはありますか?

どれも印象的でしたが、ひとつ挙げるとすればVR(バーチャルリアリティ)を使った避難体験ですね。VR自体が初めてだったのですが、いざ火事が起きた時にどう行動すればいいのか身をもって体験できました。遠征などでホテルに泊まることも多いので、今後に活かしたいと思います。

キビキビと指揮を取られています、緊張はされましたか?

あまり緊張はしなかったですね。楽しんでできました。

去年はオリンピックという大舞台を経験されましたが、オリンピックの前と後でご自身の中で変わった部分はありますか?

たくさんありますが、考え方が成長したのかなと思います。競技に対する考え方が世界で戦う思考になったというか、世界を目指す人の階段を登り始めたのかなって。初めての世界大会がオリンピックで不安も大きかったんですけど、選んでいただいたからにはやらないといけないし、自分の納得する結果ではなかったけれど、今後につながる課題も見つかって、すごくいい経験を東京でさせてもらったなと思います。

今後に向けて、どんな目標を掲げておられますか?

とりあえずは、2024年のパリオリンピックの代表選手になることが一番の目標です。もう残り3年しかないなので、それまでに世界で戦える選手になること、たくさんの人に応援してもらえる選手になることを目指しています。そして表彰台に登っ

て、できれば金メダルが取れたら嬉しいですね。その夢を叶えられるように日々、力をつけていきたいと思っています。

金メダル、楽しみにしています!!
ちなみに、大正区内で好きな場所やお気に入りのスポットはありますか?

TUGBOAT_TAI SHO(タグボート大正)が好きで、寮にいても友達と一緒にごはんを食べに行ったりします。千島の焼肉屋さんも家族でよく行きます。

地元で過ごす時間も大切にされているんですね。では最後に、「こんにちは大正」をご覧になっている大正区の皆さんに、メッセージをお願いします。

今、私は3年後のパリオリンピックに向けて歩き始めています。これから皆さんにもっともっと強くなった私を見てもらえるように、日々楽しみながら練習していくので、ぜひ皆さんの応援よろしくお願いします!



「通常点検」を見守る谷川消防署長。通常点検は、消防署員の厳正な規律の保持と品位の向上を目的に、服装と礼式に則った動きの点検を行う訓練です。



「初めて」と言う消火器を体験。「消火器のコツは、火の根本に向けてほうきで掃くようにかけること」という隊員のアドバイスのもと、見事に消火完了!



谷川消防署長の指揮で始まった消火、救助、救急の連携訓練。放水による消火から救助につなげ、最後は無事に搬送を完了。迫力満点の訓練でした。



VR(バーチャルリアリティ)で、火災が発生した室内から避難を体験。煙を吸わないよう低い姿勢で通路誘導灯を頼りに進みます。谷川署長はしっかり時間内に避難成功!



「谷川署長に突撃インタビュー」コーナー。日頃から、火の消し忘れやコンロの周囲に燃えやすいものを置かないなどの心がけをされているそうです。

※本記事は、令和3年11月7日にインタビューしたものを掲載しています。

問合せ 政策推進 4階42番 ☎ 4394-9975

ピンチをチャンスへ オリンピック選手を迎えて!

新年明けましておめでとうございます。本年も大正消防署の署員一同、区民の皆様の「安心・安全」を守るため、決意新たに全力を尽くして参ります。

さて、大正消防署では、平成27年から火災予防の普及啓発の一環として、庁舎を開放してのイベント「消防署開放デー」を開催してきました。しかし、一昨年は感染防止等を踏まえ中止(ホームページ上でオンライン開催)と判断せざるを得ませんでした。

令和3年となり「また、今年も開催できないか…他にいい案がないものか」と頭を悩ませていたその時、ふと、区の広報紙を見ると「大正区出身東京オリンピック出場・谷川選手」の記事が目にと「これだ!」と!

「^{わら}藁にもすがる思いで谷川選手に連絡を取り、「一日消防署長」の就任を依頼し、普及啓発のお手伝いをしていただきました!

「ピンチをチャンスへ」これからも大正消防署は、困難な状況でも諦めず、新たな手法や取り組みを模索しながら、区民の皆様へ防火・防災の普及啓発を進めていきます。



問合せ

大正消防署
予防担当

☎ 6552-0119

(左)消防司令補 中田 圭亮
(右)消防士 岩本 拓馬

大正消防署からのお知らせ

救急安心センターおおさか
【#7119】

突然の病気やケガで「救急車を呼んだ方がいい?」「病院にいった方がいい?」と困った時に電話してください。看護師が医師の支援体制のもと、24時間・365日対応します。相談の結果、緊急性がある場合は、直ちに救急車が出発します。

【電話番号】

#7119 または 6582-7119

※医薬品の使用方法、現在治療中の病気に関する治療方針、健康、介護、育児に関する相談はご遠慮ください。

※相談料は無料ですが、通話料はご利用者様の負担になります。

問合せ

大正消防署 予防担当

☎ 6552-0119

